

授業科目	看護理論	4 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		看護	選択

科目担当責任者	長谷川真澄 (保健医療学研究棟 E305 号) e-mail : m-hasegawa@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	看護理論はさまざまな看護現象を記述する、説明する、予測する、看護ケアを導くといった目的を持つ知識体系である。ナイチンゲール以来、さまざまな看護理論が開発、検証され、看護学の科学的発展を牽引してきた。本科目では、3 年間の学習を踏まえつつ、看護理論について学ぶことをとおして「看護の本質」について考える。具体的には、看護理論の歴史的発展の経緯、看護理論の構成要素、看護実践への適用例などの基本的事項について学び、看護理論を用いて自身が行った看護実践を振り返り考察する。学生グループでのディスカッションを多く交えながら、4 年間の学習の集大成の一つとして、また、看護専門職として臨床で働く上で必要な、各自の看護観を明確にすることを旨とする。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護理論の基本的な構成要素および看護学における位置づけを説明できる。</li> <li>2. 主要な看護理論の概要と特徴を説明できる。</li> <li>3. 3 年次までの実習における自己の看護実践について看護理論を適用し考察できる。</li> <li>4. 看護理論の実践への適用の意義を説明できる。</li> <li>5. 看護の主要概念について自己の考えを述べることができる。</li> </ol>		
関連科目	看護学概論、各臨床地実習、看護学研究 1・2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	グループ学習	50%	グループ学習：グループワークへの貢献度、発表資料の内容、発表態度、討論への参加状況 課題レポート：授業時のワークシート課題および最終課題レポートの内容と提出状況、最終課題レポートはルーブリックによる評価を行う
	課題レポート	50%	
教科書	指定なし		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>①野嶋佐由美編 [2021] 「看護学の概念と理論」 日本看護協会出版会</li> <li>②西村ユミ、山川みやえ編 [2021] 「現代看護理論 一人ひとりの看護理論のために」 新曜社</li> <li>③筒井真優美編 [2020] 「看護理論家の業績と理論評価 第 2 版」 医学書院</li> <li>④黒田裕子 [2020] 「臨床活用事例でわかる中範囲理論」 日総研出版</li> <li>⑤筒井真優美編 [2019] 「看護理論—看護理論 21 の理解と実践への応用 改訂第 3 版」 南江堂</li> </ol>		
履修上の留意点	講義はグループディスカッションを交えながら進めるので、積極的な参加を期待する。 参考書は上記のほか、随時、紹介する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス 看護実践に看護理論がなぜ必要か 看護活動・看護過程、看護研究と看護理論との関連 看護理論の構成要素	事後：配付資料を読む	講義・グループ学習	長谷川
2	看護のメタパラダイム—人間、健康、環境、看護の定義	事前：ワークシートに取り組む 事後：配付資料を読む	〃	〃
3	看護理論の歴史的発展	事前：ワークシートに取り組む 事後：配付資料を読む	〃	〃
4	看護理論の臨床適用 1：対人関係理論を例に	事前：ワークシートに取り組む 事後：配付資料を読む	〃	〃
5	グループ学習 1：看護理論家を選択し、理論の概要と特徴を調べる	事前：ワークシートに取り組む 事後：発表の準備	グループ学習	〃

6	グループ学習 2：調べた内容の発表と全体討論	事前：配付資料を読む	〃	〃
7	看護理論の臨床適用 2：看護理論を用いて実践を振り返る	事後：発表資料の準備	〃	〃
8	看護理論の臨床適用 3：発表と全体討論	事前：配付資料を読む 事後：課題レポート	〃	〃